

「教育目標：心豊かに自ら生き抜く、心身ともにたくましい生徒の育成」

平成27年度 柳津町立西山中学校

# 学校だより

平成27年11月 6日(金)発行 第 28 号 発行責任者:高橋 弘悦

## 小中合同駅伝

「これ以上の天気は望めません！」というほどの抜けるような青空の下、第4回となる西山小中合同駅伝を、5日開催しました。今年度は、初めて保護者・教員合同チームを結成し、全9区間6チームで健脚を競い合いました。

合同チームには、西山駐在所出口さんも特別に参加。突然のお願いだったため、制服のまま走るという、捕り物以外では見ることができない姿も見ることができました。

沿道では地域の方も声をからして応援していただき、西山ならではの行事となりました。

なお、各区间賞は次の通りです。(中学校区間のみ)

第7区 渡部 涼花

第8区 原 雅

第9区 渡部 悠希



↑

「交通指導できているので、本署には内緒です(´▽`)」とのことでした…



←3回登場 小林先生 お疲れ様でした!!!

# 奇祭「せんどらむし」に参加

30日、全校生で「せんどらむし」に参加してきました。地区に古くから伝えられる伝統的な行事…。近隣各地で行われてきた行事だそうですが、最近では行われる地域も限られてきたとか…。こうしたことから、本校では前日のたいまつづくり、大柱周辺の燃え草の準備から手伝わせていただき、伝統を継承する一員としての自覚を高める活動をしました。

境内には、地元消防団の方が準備してくださった豚汁もあり、楽しいひとときを過ごさせていただきました。



## せんどらむし 火でたたき 心身清める

旧九月十八日（十月十五日）の晩、河沼郡柳津町の砂子原（すなごはら）地区で行われる火祭りがある。昔、その祭を行わなかった年に、村は大火にあったと言い伝えられ、それからは毎年欠かしたことがないという。「せんどらむし」といわれるその火祭り。

日暮れの頃、熊野神社から太鼓の音が鳴り響く。その合図と共に、お供えするために新米でついた餅を手に皆が集まってくる。

神社の広場に、半日ばかりで作った大柱が立てられている。大柱は杉。そして、大柱の根元には燃え草として竹や柴、ワラ・マメガラ・ジュウネンなど秋に収穫した作物の取り殻が集められている。

灯明から四人のたいまつに火が移され、合図と共に東西南北の四方から燃え草に火が付けられる。

火が燃えあがる。竹に火が移ってはパンと大きな音を出す。そしてさらに燃えさかる。

「せんどらむし」と呼ばれる火祭りには、今年作物が豊かに実った感謝の気持ちが込められている。そしてまた、来年の五穀豊穰（ごこくほうじょう）・家内安全・厄除けなど、様々な願いが込められているのだという。

大柱に火がつくとそれぞれが、麻幹（おがら）で作った一、五メートルほどの長さのたいまつを手にして火をともし、その火でお互いを叩き合う。

ルールは、膝から下を叩くこと。大人も子供も関係なく、お互いの顔を確かめ合いながら、足元を軽く叩き合う。また一年無事に過ごせるますように・・・火によって、身も心も清められるということなのだろう。



朝日新聞福島版連載のコラムより（H12年11月2日）